

災害対策マニュアル

(患者様用)

I.災害時に備えて

II.災害時の対応

III.災害用伝言ダイヤルについて

IV.災害カードについて

V.災害時の心得

VI.避難経路

キナシ大林病院 透析室

住所 高松市鬼無町藤井 435-1

電話 (087) 881-3631 (代表)

F A X (087) 881-3867

I.災害時に備えて

- 1) 大規模な災害が起こった時に、通常通りの治療が行えなくなる場合があります。必要な物品や薬剤の供給が通常通りに行われなくなる場合や、透析施設に被害が出たり、電気・水道の供給が途絶えた場合に、当院へ他施設からの患者様を受け入れる場合もあります。この為、災害時には必要最低限の治療しか出来ず、大幅に透析条件を変更せざるを得ない場合があるという事をご理解下さい。
 - 2) 災害の為に透析療法が受けられなくなって、次の透析が出来るようになるまで生命の安全が維持できるかどうかは日頃の自己管理が重要となります。
 - ① 体重の増え幅を **5%以内**におさえてください。
 - ② カリウム値を日頃より **5.4mEq/l 以下**におさえましょう。
 - 3) 現在受けている治療内容を知り管理しておきましょう。
 - ① ドライウエイト・心胸比 (CTR)
 - ② 血圧
 - ③ 定期内服薬の内容
 - 4) 災害時の必需品
 - ① 災害カード
 - ② 保険証、免許証のコピー
 - ③ 定期内服薬 (災害時予備薬 1週間分)
 - ④ インスリン使用者はシリンジ、アルコール綿、血糖測定器セット、角砂糖、ブドウ糖など
- ※ 緊急時に、すぐ持ち出せられる様に準備しておきましょう。
- ※ 賞味期限・使用期限のある物に関しては定期的に交換しましょう。

Ⅱ.災害時の対応（地震・火災・台風・洪水）

1) 透析中に災害が発生した場合

- ① 地震で揺れを感じたら布団をかぶり、蛍光灯などの落下物から身を守りましょう。
- ② 穿刺針が抜けない様に血液回路をしっかり握りましょう。
- ③ ベッド柵につかまり、転落しないように体を支えましょう。
- ④ 窓際の方は、布団を体全体にかぶり、窓ガラスから身を守りましょう。

※大きな揺れも数十秒で必ずおさまると思われま

す。透析を続けるかどうかは医療スタッフの指示に従ってください。

通常時



地震時



☆避難する場合☆

- ① 返血が可能な場合は返血後に抜針し、止血ベルトで固定します。
基本的には、いつもしている返血を行います。
- ② 緊急を要する場合は返血せずに抜針し、止血ベルトで固定します。
その為にも、**各自で止血ベルトの準備をして下さい。**
- ③ 落下物などから頭を守る為にタオルなどをかぶり避難しましょう。
- ④ 避難時は、ケガ防止の為に、必ず履物を履いて避難しましょう。
- ⑤ 火災発生時は、タオルなどで口と鼻を押さえ煙を吸い込まない様にして
ください。(避難経路を参照して下さい。)

《避難場所》

地震時

* スタッフの指示に従い行動し、安全な場所に避難してください。

火災時

- * 自力歩行可能な人→階段を使用し避難
 - * 寝たきり・介助を要する人→リハビリ奥庭園
- ◎避難場所に関しては状況により変わる事があるので、スタッフの指示に従って下さい。
- ⑥ 出来るだけ姿勢を低くし、スタッフの指示に従い行動し、安全な場所に避難してください。
 - ⑦ 避難後は、病院で待機または家族の迎えを待ってください。
 - ⑧ 非常時は、エレベーターが途中で止まる危険性があるので絶対に使用しないでください。

2) 自宅で災害が起きた場合

- ① 緊急速報（テレビ・ラジオ）を聞き、災害の程度と危険地域、被害の発生状況を知り、避難指示があれば従ってください。
- ② 自分が受けている施設が被災し治療が受けられない場合は、他の透析可能病院や施設を確認し連絡をとってください。
- ③ 避難場所では、避難所のスタッフに透析をしている事を伝え、援助を依頼して下さい。
※阪神・淡路大震災や、新潟県中越沖地震・東日本大震災などの震災時、行政は申し出のあった透析患者様を優先的に支援しています。
- ④ 普段の交通手段が使えるかどうかを確認してください。
- ⑤ 大規模災害では2～3日治療が出来ない場合もあるので、定期薬剤を服用して対応してください。
- ⑥ 日頃から、水分管理・食事管理に気をつけておいてください。
- ⑦ 非透析日の場合は、病院から安否確認はしません。状況が落ち着いたら患者様より連絡下さい。

※日頃から災害時にはどのような行動をとればよいか家族で話し合ひましょう。
いざという時、慌てずに安全な避難ができるようにお互いに心の準備をしておきましょう。

Ⅲ.災害用伝言ダイヤルについて

- 1) 地震などの災害時には、安否の確認や問い合わせなどの電話が増加し、つながりにくい状況が1日～数日間続く事が予想されます。このような状況避ける為にも、施設の被害状況を知る為の「NTT 災害用伝言ダイヤル」というのがあります。これは171にダイヤルする方法で当院が録音した内容を聞く事が出来るとともに患者様の情報を伝える事も出来るサービスです。災害ダイヤルを利用し、当院の状況を把握出来る様にして下さい。

伝言の登録方法	伝言の再生方法
1. 171にダイヤルする ▼ガイダンスが流れる 2. 1を押す ▼ 3. ☎ (087) 881-3631 を入力する ※透析施設（自宅）の電話番号を市外局番からダイヤルし音声録音する。	1. 171にダイヤルする ▼ガイダンスが流れる 2. 2を押す ▼ 3. ☎ (087) 881-3631 を入力する ※通院している透析医療機関の電話番号を市外局番からダイヤルし状況を確認する。

- 2) 「当院の被害状況」「当院で透析が出来るかの有無」などについての情報を、おおむね3時間毎に更新します。その時に次回の更新時間もお伝えします。各自で確認する様にして下さい。

夜間の場合は、最終更新時に次回の更新は翌朝〇〇時頃の更新になりますと入れます。

※ 震度6以上の地震発生時にご利用できるようになります。

震度5以下の地震ならびにその他の災害発生時には、電話の通信状況により利用することが出来ます。

- 3) 携帯電話災害用伝言サービス

患者様同士で携帯電話の「携帯電話災害用伝言サービス」を使って、安否の確認等の情報を交換する事が出来ます。各携帯会社のサービスを確認しておいて下さい。

IV. 災害カードについて

他施設で透析を受ける際に、「災害カード」が重要になります。この災害カードには、患者様の透析条件などの情報が記載されています。災害はいつ、どんな状況で発生するかはわかりません。常に携帯する様にしましょう。

<p>患者災害カード</p> <p>私は血液透析を受けています。 万一の場合は、下記に連絡して下さい。</p>  <p>医療法人 財団博仁会 キナシ大林病院 高松市鬼無町藤井435-1 電話(087)881-3631</p>	<p>災害伝言ダイヤル再生方法</p> <p>171にダイヤルする ガイダンスが流れます 2を押す ガイダンスが流れます (087)881-3631を押す。 透析室の状況が流れてきます</p>
---	--

氏名	
電話番号	
患者番号	
生年月日	
血液型	
緊急連絡先 TEL

感染症		
アレルギー			
禁忌薬剤			
ダイアライザー			
抗凝固剤			
初回	単位	持続	単位

V. 災害時の心得

災害が起こった時、患者様には、慌てず落ち着いて行動する事をお願いします。透析中に災害が起こった場合、不必要な言動により、スタッフの指示が耳に届かない事も予想されます。その為、不必要な言動は控え、スタッフの指示に従っていただく事をお願いします。

非透析日の場合も同じく、慌てる事のない様に落ち着いて行動する様にしましょう。

※この災害マニュアルは、自宅の分かりやすい場所に保管し、災害時にはすぐに取り出せるようにしておきましょう。

